

令和7年度大阪府景観審議会

第3回公共事業アドバイス部会 会議要旨

開催日時：令和8年2月13日（金）10:30～12:00

出席委員：若本部長、田中専門委員、船曳専門委員

【府営大阪狭山西山台住宅について】

（専門委員）

- 遠景からの視点に設定されている場所は具体的にどこを指しているのか。
→西側と東側の2駅から帰宅される方がメインになるので、ここをメインの通路と設定し、そこから見える遠景を視点場として設定。

（専門委員）

- 外壁の色について、アクセントカラーにターコイズブルーを選定した理由について。
→狭山池の青をイメージ。また、少し高台になっているところなので、上に青空が見え、暗い色だと圧迫感がある。住宅から青空に溶け込むようなイメージでこの色を選定。建替全体でのカラーについては2期工事でも同じような彩色になる予定。
- 東側と西側にかなり大きな面が出ると思うので、そこが壁にならないように計画してほしい。
図面ではあまりイメージがつかないため、もう少し詳細なものがあればいいかと思った。

（部会長）

- 色相的にベージュとターコイズブルーは合うのか。明度も異なっていると思う。
→今はモダンな共同住宅で、よくある採用されているような配色にもなってはくるので、合うとは考えている。
- 事例としてあまり見ないので、検討された方が良いと思う。明度低めのブルーのインパクトが大きい。色彩選択の理由として狭山池を引用することも適切とは思われない。空の色に合わせるという考え方については、明度が低いと目立つので青ければ合うというわけにもいかない。
- デザインを頑張っているのはよくわかるが、明らかに他と違う建物みたいに見えるのを危惧した。
- 法面の傾斜について
→現在の傾斜が30°以上あるので、切土により基準を満たす。

- 地域の住民が団地の中を通り抜けるなど、歩行者の視点場が団地内に発生するのか。
→通り抜けに関して、近隣住民にも入っていただけるような公園を配置する予定にしている。散歩ルートには高低差もあっていいと思う。南側と北側の道路はインターロッキング舗装となっており、府営住宅の緑が見えるので、団地内の散歩ルートも考えられる。駐車場は契約台数分のため、すべて埋まる予定。
- 中の通路も視点場になるということは、平面駐車のアスファルトが相当見えるので、道路の真正面に駐車場がある、歩いていて車ばかり、そういうところを少しずつ改善してほしい。例えば、駐車場の中を歩いていても楽しくないため、適宜駐車場を分割するなど、中を歩いている気持ちで設計すると変わる。積算上お金はほとんど変わらないと思うので、配置を考えなおすと住民にも喜んでいただけるだろう。
- 受水槽などの付属施設については、同じ型のものを配置しているようだが、道路際に配置されるので、ここをデザインすると散歩にふさわしいものになると思う。集会所・駐輪所等も力を入れてしっかりデザインしていただければ良い。
- ゴミ置き場は屋根がないため、これもあまり露出しないように壁等の配置を工夫し、ゴミ収集、ゴミ捨てができるが景観上変ではない、そんなものを作ってほしい。設備室と近いところは一体できれいに仕上げてもらいたい。これもお金にはあまり関わらない話だと思う。
- 床の仕上げは建物以上に見えたりするので、気を配っているのであればいいと思う。
斜面地でインターローキング舗装を採用することについては検討された方がよい。ひねりの発生する箇所で、車椅子の方やベビーカーをおして通行しづらいこともあるので、アスファルトでいいのではないかと思うことが時々ある。アスファルトの色を変えるだけとか、本当に歩きやすくして人が生き生きとした風景を作るという方向もあると思う。これから3、40年の間は高齢者が多い社会なので、この仕上げがいいのかどうか、府の施設全体で考えられても良いと思う。

(専門委員)

- 周波数特性を考慮すると、やはり駅から近づいていく段階で特に妻側の色のある部分に、圧迫感を感じてしまう可能性があるため、3階分で色を区切り、さらにその下側に少なくとも6mぐらいになる樹木を植えるというような形で、壁面を少し分割する等の方法をとった方がよいのではないかと。
- 我々に違和感を持たせてしまう可能性がある一定以上の大きさをもった部分を少しでも小さくして、少なくとも色を塗る部分を分ける等を行うと、圧迫感や、周りから浮いているということなくすことができるのではないかと。近隣にいくつかあるかと思われる高台からの風景を、この建物が壊してしまう危険をさける必要があるのではないかと。